

2013年(平成25年)年頭にあたって

病院長 仙賀 裕

はじめに

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

茅ヶ崎をとりまく医療環境

平成24年は茅ヶ崎市民、医療機関、当院にとって長年馴染んだ医療環境が大きく変化した年でした。

平成24年10月1日茅ヶ崎徳洲会総合病院は湘南藤沢徳洲会病院として辻堂に移転しました。平成18年6月私の病院長就任直後のことですが、保健福祉事務所から市に茅ヶ崎徳洲会総合病院が藤沢市の辻堂駅再開発地に移転するとの連絡があり、平成19年1月には正式に移転意思表示がなされました。それ以降、当院はそのための準備をしてきました。

湘南東部医療圏の基準病床数、藤沢市の既存の医療施設、藤沢市医師会や茅ヶ崎医師会との話し合い、旧徳洲会病院の跡地、平日一次救急の問題等、解決が必要な問題は山積みでした。

その中で当院に直結する問題は、移転により紹介状のない軽症患者さんや入院、急性期治療の必要ない患者さんが増加する可能性が大きくなることでした。そのため病院機能を見直しました。二次救急を中心に見据え、施設基準に沿うICU(集中治療室)を新設し、平成24年3月に地域医療支援病院

に認定されました。また市とともに医師会に強くお願いして、茅ヶ崎医師会、茅ヶ崎寒川薬剤師会等の尽力により、10月1日から急患センターにおいて平日夜間の一次救急を開始することができました。現時点で当院夜間の一次救急患者は若干減少し、救急搬送患者は大幅に増加しています。本年は茅ヶ崎医師会、茅ヶ崎市とともに市民、患者さんに平日夜間急患センターが認知されていくように努めたいと思います。

今回の移転で強く思ったことは、公立病院は周囲の医療環境がどのように変化しても、毅然たる態度で良質な医療を提供し続ける必要があるということでした。茅ヶ崎市民、患者さんの最後の砦は公立病院である茅ヶ崎市立病院であってほしいと思います。旧徳洲会病院移転後、茅ヶ崎市内唯一の400床以上の病院として市民、患者さんのための病院、病気になった時やケガをした時に安心して診察、治療が受けられる病院として機能を充実させていきます。

昨年の病院運営の概略と今年の運営方向

第1に、昨年は地域医療支援病院認定が最重要事項でした。地域の医療機関や茅ヶ崎市立病院登録医と連絡をとり、協力しながら急性期治療を終えた患者さんが良い状態で安心して自宅や施設に戻れるような対応をさらに進めた結果、認定基準を満たし、神奈川県より地域支援病院として認定されまし

た。急病の患者さんがかかりつけ医、登録医、他の医療機関から当院を紹介され、受診後は円滑にかかりつけ医、登録医、他の医療機関のもとに戻れるようになりました。高度医療機能を備えたICUを完備した地域支援病院ですので、さらに機能を充実させていきます。

このような中、糖尿病の地域連携が進み、糖尿病の地域連携パスを県内の各種医療関係団体と協議のうえ作成し、実際に使用し始めました。これにより、診療先が変わっても地域で途切れることなく糖尿病の治療を受けることができるようになります。

本年は茅ヶ崎の糖尿病地域連携パスを神奈川県内の標準パスにしていきたいと思っています。

第2としてはDMAT（災害派遣医療チーム）への参加です。救急医療部長を含め職員5人がDMAT研修に参加し、全員合格、日本DMAT隊員になりました。また大規模災害時に必要になると思われるDMAT用医療機器、備品も購入し、平成25年1月15日県の視察後、神奈川DMATメンバーとして正式に登録されることとなります。今後全国各地の大規模災害時には当院のDMATチームをすぐに派遣する予定です。

第3はDMATとも関係するのですが、災害拠点病院施設基準の見直しのため、当院が神奈川県内で新基準による認定施設第1号になる可能性が大きい。これは主にDMAT参加と屋上にヘリポートを完備していることにより。

第4は患者さんのために手厚い看護が行える「入院患者7名に対し看護師

1名の体制」を続けた結果、看護の質はさらに向上したと思っています。これまでの「入院患者10名に対し看護師1名の体制」には戻れません。401床を有効利用するために、看護教育の充実、職場環境改善、全病棟での2交代勤務の導入、院内保育の完全24時間化を目指し、採用試験の回数増加や看護学生の病院実習を多く引き受けることにより、本年も継続して看護師の確保に努めていきます。また、地域の医師会、行政と連携をとりながら看護学生の育成にも力を入れていきます。

第5は特定の診療科での勤務医不足です。昨年も努力したのですが、特定の診療科の採用が困難の中、本年もいくつかの診療科では増員の予定です。ご期待ください。当院の常勤医師数89人、初期研修医数15人、医師総数104人は401床の病院としては充実しています。

毎年のことですが、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、臨床工学技士、理学・作業療法士、言語聴覚士、医療専門の事務等、総数500人近く、非常勤も含めれば700人近い専門集団は茅ヶ崎市民の貴重な財産です。茅ヶ崎市民としてその財産をうまく運用して行きたいと思えます。

おわりに

癌治療の充実、周産期医療の充実、救急医療体制の拡充、災害時医療の日頃の準備、市民の健康管理への対応、安全管理への個々の職員、病院全体の心構えなど今年さらに充実させて行きます。本年もご支援宜しく願います。